

四国風景街道協議会

【平成23年度 四国風景街道交流会】

in 南いよ風景かいどう を開催しました

●とき 2012.2.11(土) ●ところ 宇和島市内

概要

今回の交流会は、四国内で活動されているパートナーシップの方々及び行政関係者、また宮崎県より4名の参加を頂き総勢42名にて開催しました。

交流会は以下の3部構成にて行いました。

- ・1部 現場見学 遊子水荷浦の段畑(宇和島市遊子)を見学
- ・2部 事例紹介 宮崎県及び地元パートナーシップより事例紹介
- ・3部 グループ討議 「資金調達」「人材確保」「広報活動」について討議



開会の様子

現場見学

現場見学は、見学箇所となる遊子水荷浦の段畑で活動されているNPO法人「段畑を守ろう会」理事長の松田鎮昭氏の協力を得て、実際に段畑内を周回し、30度を超える急傾斜地に開墾された段畑の様子を見て廻りました。

400年前より耕し続けられた段畑は、山の頂上付近まで開墾され、圧倒的な景観となっており、平成19年7月には国内3例目となる重要文化的景観に選定されています。その他、「日本農村百景」、「四国のみずべ八十八カ所」などにも選定されている段畑を、松田氏の説明とともに、ゆっくりと見て廻ることができました。直売所である「だんだん屋」では、段畑で獲れたジャガイモや、そのジャガイモから作られた焼酎「段酌」をはじめとした、地域の特産品が並び、参加者の方も興味深く商品を手にとって確認していました。

移動バスの中での説明では、往路は松田氏による段畑の歴史、および、「段畑を守ろう会」の取組みについて、また、復路は「岩松町並み保存会」の森田浩二氏による取組みについて、分かり易く説明を頂き参加者からも好評でした。

遊子水荷浦の段畑までの道のり



出典：遊子水荷浦の段畑ガイド
(<http://www.danbata.jp>)



遊子水荷浦の段畑



現地見学風景



直売所(だんだん屋)



だんだん屋内風景

移動バス内での説明風景
(松田氏・遊子水荷浦の段畑)移動バス内での説明風景
(森田氏・岩松の町並み保存)

事例紹介

～元気な日南海岸地域をめざして～
人と人の絆が魅力ある地域をつくる
日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会

宮崎県の日南海岸エリアにおいて活動をされている、日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会の事務局長である谷越久子氏より、日本風景街道「日南海岸きらめきライン」の目標である【住んでよし、訪れてよしの魅力あふれる日南海岸地域】とするための『うつくしの道づくり』、『いやし・もてなしの道づくり』、『神話と歴史の道づくり』の3本の活動の柱について、実際の活動内容や日本書紀などに遡る神話や伝説について紹介して頂きました。

また、絆を深め、人をつなぐ「日本風景街道大学」による活動など非常に参考となるお話を聞くことが出来ました。



谷越事務局長

南いよ風景街道 愛南 活動報告
～環境ボランティアへのメールから～
愛媛県 愛南町ボランティア連絡会

四国の西南地域に位置する愛媛県愛南町において活動されている、愛南町ボランティア連絡会の事務局長である兵頭朝美氏より、まちの元気の発信場所とすべく運営されている『地域交流センタープラザじょうへん』における様々な活動内容について紹介して頂きました。

また、愛南町内における「酒蔵の道(城辺地区)」、「海街道(御荘地区)」、「山街道(山出地区)」の3つの街道を、約500個手作りの竹灯笼でライトアップする『街道灯笼祭り愛南』の活動の様子などを、多くの美しい写真と共に紹介して頂きました。



兵頭事務局長

グループ討議

グループ討議では参加者が所属や年齢などに関係なく3つのグループに分かれ、各グループに討議内容を割り当て、そのテーマに沿ってポストイット(付箋紙)を用いて討議を行い、各グループの代表者により討議結果の発表を行いました。

各グループの討議内容は、活動をおこなっていく上で常に課題として挙げられる、【資金調達】、【人材確保】、【広報活動】の3題として、現在の問題点と今後の取り組みについて話し合いました。

皆さんが日頃直面している課題に関する討議であったため、様々な意見が積極的に出され、取りまとめる時間が足りないくらい熱心に討論が行われていました。互いに意見を出し合うことで交流を深め、意識の向上にも繋がる有意義な討議となりました。



グループ討議の様子

◆ グループ討議結果 ◆

【資金調達について】

■ 困っていること

- ・補助から自立への転換が難しい
- ・資金確保のための活動時間が増える
- ・宣伝広告費の調達が難しい
- ・調達できる資金で活動の幅が決まってしまう
- ・助成制度の周知不足
どのような助成があるか情報不足

■ 提案など

- ・収入となりうる(稼ぐ)仕組み検討
- ・公的資金(交付金、助成金、基金)の仕組み及び情報の確認
- ・ワークシェアによる運営費の削減



【人材確保について】

■ 困っていること

- ・後継者不足
- ・若い人材の不足
- ・地元の人の協力が少ない
- ・コアメンバーが不足し、一部のみに偏ってしまっている

■ 提案など

- ・後継者(若い人)を集めるにはお金(給与に相当)が必要
- ・PRイベントという意識付け
“日本一”というモチベーション
- ・地域全体の行事として位置付け
地元の人の協力を仰ぐ
- ・まず簡単なイベントに参加してもらう



【広報活動について】

■ 困っていること

- ・必要な資金の確保
- ・広報対象の絞り込みが困難
- ・取り組みが一般に認知されていない
- ・より多くの人に知ってもらうための最適な手法は何か

■ 提案など

- ・地元新聞社(マスコミ)との関係確保
記者とのコミュニケーション
出来るだけ早く情報を提供する
マスコミ関係者を活動に取り込む
- ・フリーペーパーの活用
- ・パンフレットなどのデザイン統一
- ・助成金制度の見直し



おわりに

本交流会において、参加者の方々が真剣に事例紹介を聞いたり熱のこもったグループ討議を行っている様子を拝見し、大変な熱意を感じました。今後も各パートナーシップの方々の交流を深める場を設けていきますので、またのご参加をよろしくお願いいたします。

この度は週末の開催で遠方にも関わらず多数の方に御参加頂いたこと御礼申し上げます。併せて、NPO法人段畑を守ろう会・岩松町並み保存会・日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会・愛南町ボランティア連絡会の方々、御協力有り難う御座いました。



意見交換会にて

お問い合わせ

● 四国風景街道協議会

国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課内

● TEL087-811-8323

● FAX087-811-8421

● mail shikoku-fukeikaido@skr.mlit.go.jp